

【国語】

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ・「話すこと・聞くこと」
- ・「書くこと」
- ・「読むこと」
- ◇上記3領域ともに全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- ・「書くこと」
- ・「読むこと」
- ◇上記2領域ともに全国平均とほぼ同程度である。
- ・「話すこと・聞くこと」
- ◇全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを上げながら筋道を立てて話すこと。
- 自分の想像したことを表現するために、文章全体の構成の効果を考えること。
- 登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること。

- 話し合いの参加者として、質問の意図をとらえること。

改善の方向

- 相手や目的、場面、状況に応じて適切に説明の仕方を工夫する指導の充実。
- 構成の効果を考えて、物語を創作する指導の充実。
- 表現の仕方に注意し、想像を豊かにしながら読む指導の充実。

- 相手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる指導の充実。
- 聞く活動を位置付け、目的意識をもって主体的に聞くことができるようにする指導の充実。

【算数】

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- ・「数と計算」
- ・「量と測定」
- ・「図形」
- ・「数量関係」

◇上記4領域ともに全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- ・「図形」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

- ・「数と計算」
- ・「量と測定」
- ・「数量関係」

◇上記3領域ともに全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 小数や分数の乗法や除法の計算の意味について理解したり、計算の仕方を考えたりし、それらの計算ができること。
- 180° や 360° を基に分度器を用いて 180° よりも大きい角の大きさを求めることができること。
- 示された考え委を解釈し、条件を変更した場合の数量の関係を考察して、分配法則を用いた式に表現することができるようにすること。
- 複数の情報を関連付けて論理的に考察し、数学的に表現したり、条件に合う事柄について、適切に判断したりすること。

改善の方向

- 誤答の理由を考えたり、計算の結果について見積もる習慣を身に付けたりするなど、既習の計算の性質を活用して計算の仕方を考える指導の充実。
- 実際に用具を用いて測定する際に、大きさを予測したり、測定の方法について検討したりする指導の充実。
- 問題場面における数量の関係を帰納的に考察し、見いだした数量の関係を式を用いて表現する指導の充実。
- 複数の情報を解釈し関連付けて論理的に考察し、判断の理由について根拠を明確にして説明することができるようにし、日常生活の問題解決に生かす指導の充実。

【理科】

本校の概要

主として「知識」に関する問題

主として「活用」に関する問題

◇共に、全国平均に比べ、下回っている。

【区分及び領域】

- ・「物質」
- ・「エネルギー」
- ・「生命」
- ・「地球」

◇上記4区分ともに全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できること。
- 土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できること。
- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。

改善の方向

- 人がどのように体を動かしているのかということ表現する手段として、実際に腕が曲がる仕組みを筋肉の様子と関係づけて考え、模型を用いて説明するなどの学習活動の充実。
- 実験を構想する際に、どのような予想を確かめたい実験なのかを明確にし、実験方法の妥当性や得られる結果の見通しなどを児童同士で検討する場面を設定したり、その内容を発表したりするなどの学習活動の充実。
- ものづくりの目的や、獲得した知識をの活用方法を明らかにするとともに、目的に合ったものができているかを振り返り、設定した目的に対して計測し、制御する学習活動の保障。
- 自らの予想や仮説を基に実験計画を立案し、それぞれの見通しを話し合う場面を取り入れ、お互いの見通しを共有する活動の充実。